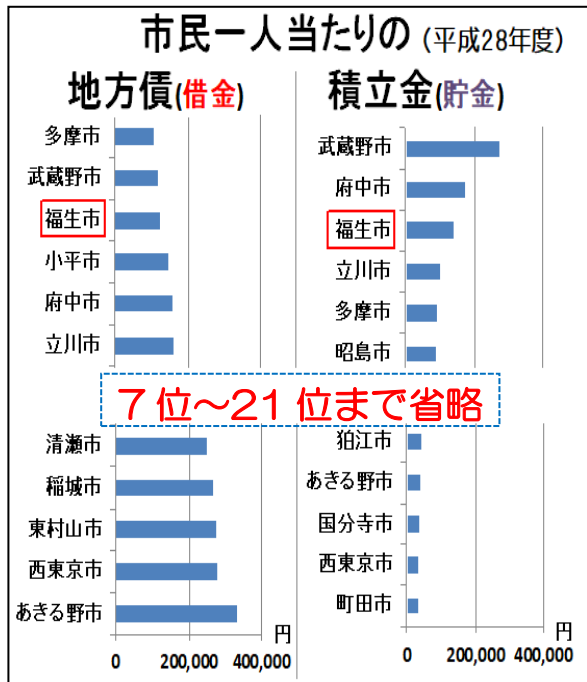


# 福生市は市民サービスにもっと財政力を活用すべき



9月市議会では、平成元年度の決算が審査されました。左のグラフをご覧ください。福生市の積立金（貯金）を人口で割った市民一人当たりの積立金は東京26市中3番目に多く、地方債残高（借金）は3番目に少ないことがわかります。最新の平成30年度のデータでも同様でした。国からの交付金を必要としない裕福な市の多くを抑えて福生市が3位ということ自体が不自然です。もっと市民サービスに活用すべきなのです。その方が、市民

が助かるだけでなく、お金が地域に循環し、地域活性化にもつながるのです。私は、こうした立場から、ため込んだ財源を活用して、

- ① 学校給食費の無償化と、厳しすぎる就学援助費の支給基準を他市並みに拡大することによって、転出の多い子育て世代を支援し、東京で一番深刻な人口減少（国立社会保障人口問題研究所調べによる将来人口推計）をストップさせる。
- ② 福祉バスを市民誰でも乗れる市内循環バスに発展させて、だれでも気軽にお出かけできる、活気ある街にする。

など、積極的に政策提言してきました。しかし、市長は、受け入れず、福生市の人口減少に対しても、何ら新たな対策を打ち出さない1年間でしたので、この決算認定には反対しました。地方自治体の仕事は財政破綻しないよう配慮しながら、最大限の市民サービスを提供することではないでしょうか。

## なんでも生活相談

11月のなんでも生活相談会のお知らせです。困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

**日時** 11月3日（火）午後7時から

**場所** 池田公三事務所（駐車場あります）

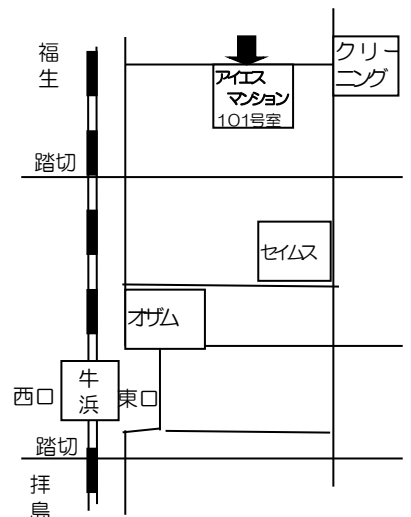
福生市志茂115 アイエスマンション101号室

TEL 042-530-0705

日本共産党 福生市議会議員  
池田 公三  
いけだ こうぞう

がご相談に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2020年10月号 号外  
日本共産党福生市委員会  
責任者 太田  
福生市志茂 115 101号室